

令和8年度

富山市ガラス美術館
協議会

資 料

令和8年7月

令和8年度 富山市ガラス美術館協議会

資料目次

資料1 富山市ガラス美術館協議会概要等

資料1-1	富山市ガラス美術館協議会の概要について……………	P 2
資料1-2	富山市「ガラスの街づくり」の主な取組みについて……………	P 4
資料1-3	富山市ガラス美術館企画展について……………	P 7
資料1-4	富山市ガラス美術館基本方針……………	P 12

資料2 令和7年度富山市ガラス美術館事業実績等……………議事（2）

資料2-1	令和7年度富山市ガラス美術館の予算額及び決算額について……………	P 14
資料2-2	令和7年度富山市ガラス美術館の主要事業について……………	P 15
資料2-3	令和7年度TOYAMAキラリ公益施設入館者数及び 富山市ガラス美術館観覧者数について……………	P 34
資料2-4	令和7年度富山市ガラス美術館5階ギャラリー使用実績について…	P 37
資料2-5	令和7年度公益施設内関連イベントの実施状況について……………	P 38
資料2-6	来館者アンケート集計結果……………	P 41

資料3 令和8年度富山市ガラス美術館事業計画等……………議事（3）

資料3-1	令和8年度富山市ガラス美術館事業一覧について……………	P 47
資料3-2	令和8年度富山市ガラス美術館展覧会開催スケジュールについて…	P 48

参考資料

参考資料-1	ミュージアムショップ（2階）のオリジナル商品について……………	P 50
参考資料-2	カフェCafe小馬キラリ店（2階）メニューについて……………	P 53

富山市ガラス美術館協議会 概要等

富山市ガラス美術館協議会の概要について

1 関係法令及び条例、規則※

- ・ 博物館法（昭和 26 年 12 月 1 日法律第 285 号）第 23 条～第 25 条
 - ・ 富山市ガラス美術館条例（平成 26 年富山市条例第 58 号）第 12 条
 - ・ 富山市ガラス美術館条例施行規則（平成 26 年富山市教育委員会規則第 3 号）第 10 条、第 11 条
- ※条文は、次頁。

2 目的

富山市ガラス美術館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるための機関。

3 任命

協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。

4 定数

定数 10 人以内

5 任期

任期 2 年

6 委員名簿（五十音順） 任期 令和 8 年 6 月 1 日から令和 10 年 5 月 31 日まで

	氏 名	推薦団体等	役職名
1	秋元 雄史	学識経験（現代美術）	金沢 21 世紀美術館 特任館長
2	石田 敬真	本市の美術の振興に 資する活動を行う者	富山市美術作家連合会長
3	唐澤 昌宏	学識経験（近・現代工芸史）	前・国立工芸館長
4	笹倉 優		公募委員
5	外館 和子	学識経験（工芸史）	多摩美術大学教授
6	半田 和義		公募委員
7	牧 勇人	学校教育関係	富山市中学校長会長
8	山下 信義	学校教育関係	富山市小学校長会長

◎博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）

（博物館協議会）

第 23 条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第 24 条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあっては、当該地方公共団体の長)が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第 25 条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

◎富山市ガラス美術館条例（平成 26 年富山市条例第 58 号）

（協議会）

第 12 条 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 23 条の規定に基づき、富山市ガラス美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に寄与する活動を行う者、本市の美術の振興に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は、10 人以内とする。

4 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

◎富山市ガラス美術館条例施行規則（平成 26 年富山市教育委員会規則第 3 号）

（協議会）

第 10 条 条例第 12 条第 1 項に規定する富山市ガラス美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（協議会の会議）

第 11 条 協議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

富山市「ガラスの街づくり」の主な取組みについて

(1) ガラス美術館開館まで

年月	事項
昭和 56 年 12 月	富山市高等教育機関研究委員会から、富山市における高等教育機関の整備について答申があり、高等教育機関として専門学校設置の提言を受ける
昭和 58 年度	答申の趣旨を踏まえ、富山市として「新しい時代の高等教育を求めて」を策定 (1) 国際教養学科 英語コース ⇒ 外国語専門学校 (2) 家庭生産学科 ガラス工芸コース ⇒ ガラス造形研究所
昭和 60 年 4 月	富山市民大学ガラス工芸コース開設
昭和 63 年 3 月	富山中央部丘の夢構想調査報告書に呉羽丘陵を中心に新たなリレーション空間を創出する案のひとつとして、初めて「ガラスの里」のイメージが語られる
昭和 63 年 9 月	富山ガラス工芸教育機関設置委員会を開催
平成 2 年 7 月	富山ガラス造形研究所校舎着工
平成 3 年 4 月	富山ガラス造形研究所が開校
平成 3 年 6 月	富山ガラス造形研究所開校記念式（本館完成 1,734.40m ² ）
平成 5 年 5 月	富山ガラス造形研究所研究科棟完成（568.86m ² ）
平成 6 年 4 月	富山ガラス工房が開設
平成 8 年 10 月	「ガラスの街づくり事業」スタート、ミニケースギャラリー設置
平成 8 年 11 月	富山ガラス個人工房建設着工（平成 9 年 4 月開設）
平成 9 年 7 月	「ガラスの里」基本構想策定委員会を設置
平成 10 年 3 月	「ガラスの里」基本構想策定委員会から「ガラスの里」基本構想の策定報告を受ける
平成 10 年 4 月	富山ガラス造形研究所の研究科を 1 年制から 2 年制とする
平成 10 年 9 月	「ガラス美術館」の基本方針や性格を審議するため、「ガラス美術館」基本構想策定委員会を設置
平成 10 年 12 月	「ガラス美術館」の収蔵品の選定・評価のため「ガラス美術館」収蔵作品選定委員会を設置

平成 11 年 8 月	富山国際会議場のオープンに併せ、1 階にガラス工芸品を販売するアートサロンを設置、同階の交流ギャラリーの一角に市所蔵のガラス作品を展示
平成 12 年 3 月	富山ガラス造形研究所増築工事 (特別制作室、作品収蔵庫/421.48m ²)
平成 13 年 3 月	「ガラス美術館」基本構想策定委員会が基本構想をまとめる
平成 14 年 3 月	富山ガラス工房拡充整備計画を策定
平成 14 年 8 月	「第 1 回現代ガラス大賞展・富山 2002」を富山市民プラザで開催
平成 14 年 11 月	富山ガラス造形研究所顧問である藤田喬平氏が文化勲章を受章。これを記念して、「藤田喬平のガラス芸術」展を富山国際会議場で開催
平成 14 年 11 月	ガラス美術館建設延期に伴い、街全体を美術館に見立てた新たな展開方針を検討。中心市街地を含めたストリートエリアへの作品展示に着手
平成 16 年 8 月	「ガラスの街とやま」シンボルマークを正式発表
平成 16 年 10 月	レンタル機能を新たに盛り込んだ富山ガラス工房の増築棟完成
平成 17 年 3 月	富山市民プラザ 2 階に市所蔵のガラス作品を展示するガラスアートギャラリーを開設
平成 17 年 3 月	ガラス美術館・ストリートエリア構想事業の一環として、屋外型ショーケースを大手モールに設置
平成 17 年 8 月	「第 2 回現代ガラス大賞展・富山 2005」、愛知万博関連事業「光と空間の捕捉ーチェコ現代ガラス展」を富山市民プラザで同時開催
平成 19 年 9 月	「TOYAMA GLASS×ONE 2007」展を富山市民プラザで開催
平成 20 年 2 月	有識者による「(仮称)ガラス美術館」懇談会を開催(計 2 回)。ガラス美術館の建設地について、中心市街地での整備が望ましいという提言を受ける
平成 20 年 3 月	森富山市長が 3 月議会でガラス美術館を中心市街地で整備する意向を表明
平成 20 年 4 月	それまで複数の部局で実施していたガラス事業を富山市企画管理部に一元化

平成 20 年 8 月	「第 3 回 現代ガラス大賞展・富山 2008」を富山市民プラザで開催
平成 21 年 3 月	今後のガラスの里の整備方針やガラス美術館の方向性を盛り込んだ「富山市ガラスの街づくりプラン」を策定
平成 21 年 4 月	富山ガラス造形研究所が県教育委員会から専門学校の認可を受ける
平成 22 年 1 月	森富山市長が旧大和跡地でのガラス美術館を整備する計画を表明
平成 22 年 3 月	「ガラスの里」宿舎棟及びアーティスト・イン・レジデンスを富山市西金屋地内に設置（同年 4 月より供用開始）
平成 22 年 11 月	「西町南地区の公益施設整備に関する基本構想」を策定し、ガラス美術館の役割や整備に向けての基本方針を打ち出す
平成 23 年 4 月	「ガラスの里」宿舎棟を増築、供用開始
平成 23 年 8 月	「第 4 回 現代ガラス大賞展・富山 2011」を富山市民プラザで開催
平成 24 年 1 月	「ガラスの里」にかわる新名称を公募により「グラス・アート・ヒルズ富山」に決定
平成 24 年 9 月	「グラス・アート・ヒルズ富山」において、市民や観光客のガラス制作体験に特化した富山ガラス工房第 2 工房を開設
平成 25 年 1 月	ガラス美術館設置準備室設置
平成 25 年 5 月	富山市西町南地区第一種市街地再開発事業起工
平成 26 年 8 月	再開発ビルの愛称が「TOYAMA キラリ」に決定
平成 27 年 4 月	富山市行政組織規則（平成 17 年規則第 3 号）に基づき「ガラス美術館」設置
平成 27 年 5 月	富山市西町南地区第一種市街地再開発事業竣工
平成 27 年 6 月	グラス・アート・ガーデン作品の一部をチーフリ・スタジオとガラス造形研究所・ガラス工房のスタッフとが共同制作
平成 27 年 8 月	富山市ガラス美術館開館

(2) 富山市ガラス美術館企画展について

	会期	展覧会名
平成 27 年 度	平成 27 年 8 月 22 日 (土) ～平成 27 年 11 月 8 日 (日) (開場 68 日)	アイ・ガット・グラス！アイ・ガット・ライフ！ 情熱の現代ガラス芸術 【観覧者数：41,442 人】
	平成 27 年 11 月 21 日 (土) ～平成 28 年 1 月 31 日 (日) (開場 57 日)	藤田喬平の芸術－「現代」としての伝統 【観覧者数：10,370 人】
	平成 27 年 11 月 21 日 (土) ～平成 28 年 3 月 21 日 (月・祝) (開場 100 日)	ハワード・ベン・トレ：Casting of Being－存在の痕跡 【観覧者数：18,630 人】
平成 28 年 度	平成 28 年 4 月 16 日 (土) ～平成 28 年 7 月 3 日 (日) (開場 74 日)	feeling in glass－感じとるかたち－ 【観覧者数：17,836 人】
	平成 28 年 7 月 16 日 (土) ～平成 28 年 9 月 25 日 (日) (開場 67 日)	イワタルリ BODY×硝子 【観覧者数：20,108 人】
		ベンジャミン・イードルス&キャシー・エリオット：Light Marks－光を辿（たど）る 【観覧者数：20,206 人】
	平成 28 年 10 月 15 日 (土) ～平成 29 年 2 月 5 日 (日) (開場 100 日)	スタニスラフ・リベンスキー ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ 【観覧者数：14,355 人】
	平成 29 年 2 月 18 日 (土) ～平成 29 年 3 月 26 日 (日) (開場 35 日)	「うごき」と「へんか」の視点・富山市ガラスコレクション展 【観覧者数：8,958 人】
平成 29 年 度	平成 29 年 4 月 15 日 (土) ～平成 29 年 7 月 9 日 (日) (開場 80 日)	雲母 Kira 平山郁夫とシルクロードのガラス展 【観覧者数：20,864 人】
	平成 29 年 7 月 22 日 (土) ～平成 29 年 11 月 5 日 (日) (開場 100 日)	アン・ヴォルフ アンダンテ 【観覧者数：25,693 人】
	平成 29 年 7 月 22 日 (土) ～平成 29 年 11 月 5 日 (日) (開場 100 日)	家住利男 削りの形 【観覧者数：25,803 人】
	平成 29 年 11 月 23 日 (木・祝) ～平成 30 年 2 月 4 日 (日) (開場 64 日)	とめどないエネルギー：ガラスをめぐる探究と表現 【観覧者数：9,613 人】

平成 29 年度	平成 30 年 2 月 17 日（土） ～平成 30 年 3 月 25 日（日） （開場 34 日）	北陸のガラス作家たち：多様化するガラス造形 【観覧者数：8,259 人】
平成 30 年度	平成 30 年 4 月 7 日（土） ～平成 30 年 6 月 17 日（日） （開場 69 日）	ダブルリフレクション：世界を見つめなおす瞬間（とき） 【観覧者数：17,317 人】
	平成 30 年 4 月 28 日（土） ～平成 30 年 9 月 3 日（月） （開場 121 日）	扇田克也-光のカタチ 【観覧者数：37,360 人】
	平成 30 年 7 月 7 日（土） ～平成 30 年 9 月 3 日（月） （開場 56 日）	アレナ・マチェイカ 神秘的な世界への旅 【観覧者数：19,539 人】
	平成 30 年 9 月 15 日（土） ～平成 30 年 11 月 25 日（日） （開場 68 日）	富山ガラス大賞展 2018 【観覧者数：20,598 人】
	平成 30 年 12 月 8 日（土） ～平成 31 年 2 月 24 日（日） （開場 76 日）	ジブリの大博覧会～ナウシカからマーニーまで～ 【観覧者数：225,435 人】
令和 元 年度	平成 31 年 4 月 27 日（土） ～令和元年 9 月 23 日（月・祝） （開場 140 日）	北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック-モダン・パリのエレガンス- 【観覧者数：58,838 人】
	平成 31 年 4 月 27 日（土） ～令和元年 9 月 23 日（月・祝） （開場 140 日）	MART A K L O N O W S K A Istota マルタ・クロノフスカ 不思議ないきもの 【観覧者数：59,715 人】
	令和元年 10 月 12 日（土） ～令和 2 年 2 月 9 日（日） （開場 112 日）	リノ・タリアピエトラ ライフ・イン・グラス 【観覧者数：23,711 人】
	令和 2 年 2 月 29 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （令和元年度中開場 30 日）	ミクロコスモス：あらたな交流のころみ 【令和元年度中 観覧者数：4,444 人】
令和 2 年度	令和 2 年 2 月 29 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （令和 2 年度中開場 129 日）	ミクロコスモス：あらたな交流のころみ 【令和 2 年度中 観覧者数：15,602 人】 【期間計 観覧者数：20,046 人】
	令和 2 年 4 月 25 日（土） ～令和 2 年 9 月 22 日（火） （開場 117 日）	イヴァナ・シュラムコヴァ ここにあるもの 【観覧者数：15,000 人】
	令和 2 年 10 月 10 日（土） ～令和 2 年 11 月 23 日（月） （開場 43 日）	木梨憲武展 Timing -瞬間の光り- 【観覧者数：48,735 人】
	令和 2 年 12 月 12 日（土） ～令和 3 年 3 月 14 日（日） （開場 83 日）	インタラクション：響きあうころ 【観覧者数：10,823 人】

令和2年度	令和3年3月6日(土) ～令和3年6月22日(火) (令和2年度中開場日25日)	高橋禎彦 playtime 【令和2年度中 観覧者数：4,307人】
令和3年度	令和3年3月6日(土) ～令和3年6月22日(火) (令和3年度中開場日77日)	高橋禎彦 playtime 【令和3年度中 観覧者数：8,438人】 【期間計 観覧者数：12,745人】
	令和3年4月10日(土) ～令和3年6月22日(火) (開場日69日)	サントリー美術館特別協力 ガラスに挑むー素材へのまなざし 【観覧者数：9,482人】
	令和3年7月10日(土) ～令和3年10月3日(日) (開場日57日)	富山ガラス大賞展2021 【観覧者数：14,312人】
	令和3年10月23日(土) ～令和4年1月23日(日) (開場日83日)	富山ガラス造形研究所創立30周年記念展 未来へのかたち 【観覧者数：17,543人】
	令和4年3月12日(土) ～令和4年6月26日(日) (令和3年度中開場日19日)	カースティ・レイ：静けさの地平 【令和3年度中 観覧者数：3,902人】
令和4年度	令和4年3月12日(土) ～令和4年6月26日(日) (令和4年度中開場日81日)	カースティ・レイ：静けさの地平 【令和4年度中 観覧者数：18,403人】 【期間計 観覧者数：22,305人】
	令和4年7月16日(土) ～令和4年10月16日(日) (開場日87日)	コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now 【観覧者数：28,104人】
	令和4年11月3日(木・祝) ～令和5年1月29日(日) (開場日79日)	フィンランド・グラスアート：輝きと彩りのモダンデザイン 同時開催：ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展ー食べること、共に生きることー 【観覧者数：24,628人】
	令和5年2月11日(土・祝) ～令和5年2月19日(日) (開場日9日)	ガラスの街とやま連携展 「TOYAMA GLASS×(バイ)…」 【観覧者数：2,476人】
	令和5年3月4日(土) ～令和5年6月18日(日) (令和4年度中開場日27日)	アナザーワールド：不思議でリアルな世界 【令和4年度中 観覧者数：10,140人】

令和5年度	令和5年3月4日(土) ～令和5年6月18日(日) (令和4年度中開場日73日)	アナザーワールド：不思議でリアルな世界 【令和5年度中 観覧者数：27,797人】 【期間計 観覧者数：37,937人】
	令和5年7月8日(土) ～令和5年10月9日(月・祝) (開場日88日)	日本近現代ガラスの源流 【観覧者数：33,757人】
	令和5年11月3日(金・祝) ～令和6年1月28日(日) (開場日66日)	宮永愛子 ^{うた} 詩を包む 【観覧者数：15,301人】
	令和6年2月10日(土) ～令和6年2月18日(日) (開場日9日)	ガラスの街とやま連携展 「ガラスと生きる」富山ガラス工房と所属作家 【観覧者数：2,839人】
	令和6年3月9日(土) ～令和6年6月23日(日) (令和5年度中開場日22日)	回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ 【令和5年度中 観覧者数：7,455人】
令和6年度	令和6年3月9日(土) ～6月23日(日) (令和6年度中開場日78日) (開場日100日)	回顧展：大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ 【令和6年度中 観覧者数：25,935人】 【期間計 観覧者数：33,390人】
	令和6年7月13日(土) ～10月14日(月・祝) (開場日88日)	富山ガラス大賞展2024 【観覧者数：51,098人】
	令和6年11月2日(土) ～令和7年1月26日(日) (開場日76日)	没後120年 エミール・ガレ：憧憬のパリ 【観覧者数：27,894人】
	令和7年2月8日(土) ～2月16日(日) (開場日9日)	ガラスの街とやま連携展・富山ガラス工房開設30周年記念 まなざしとりズム-富山ガラス造形研究所 教員10人の表現 【観覧者数：4,940人】
	令和7年3月8日(土) ～6月22日(日) (令和6年度中開場日23日)	富山ガラス工房開設30周年記念展 Gathering-つなぐ創造力 【令和6年度中 観覧者数：14,692人】

令和7年度	令和7年3月8日（土） ～6月22日（日） （令和7年度中開場日77日）	富山ガラス工房開設30周年記念展 Gathering-つなぐ創造力 【令和7年度中 観覧者数：53,099人】 【期間計：67,791人】
	令和7年7月18日（金） ～10月13日（月・祝） （開場日83日）	開館10周年記念 Lives－富山市ガラス美術館所蔵品選 【観覧者数：72,068人】
	令和7年11月1日（土） ～令和8年1月25日（日） （開場日76日）	開館10周年記念 めぐりあう今を映す－日本の現代ガラス 1975-2025 【観覧者数：46,737人】
	令和8年2月7日（土） ～2月15日（日） （開場日9日）	ガラスの街とやま連携展・富山市ガラス美術館開館10周年記念 富山ガラス工房 高橋禎彦館長就任記念 Glass Studio Hub－ひと・わざ・創造力の集まる場所 【観覧者数：4,795人】
	令和8年3月7日（土） ～6月21日（日） （令和7年度中開場日24日）	Noctis：影と光のガラスアート 【令和7年度中 観覧者数：17,971人】

富山市ガラス美術館

基本方針

- 1 現代のガラス作品を中心に収集し、後世に伝えます。
- 2 ガラスを軸とした現代の多様な芸術表現を紹介し、人々に芸術との出会いの場を提供します。また、富山ゆかりのガラス作家の作品も紹介します。
- 3 収蔵作品や現代美術に関連した調査研究を実施し、その成果を社会に還元します。
- 4 芸術を通して、豊かな感性や知的好奇心を育みます。また、本市のガラスの街づくりにも寄与します。
- 5 併設する図書館と連携し、「透き通る」をテーマに、誰もが気軽に「美」と「知」に触れられる場として、まちなかの賑わいのある、魅力的な美術館を目指します。

令和 7 年度

富山市ガラス美術館
事業実績等

令和 7 年度 富山市ガラス美術館の予算額及び決算額について

No.	事業名	当 初 予算額	決算額	主な事業の概要（数値は決算額）	6 年度 決算額
1	管理運営事務費	426,760 千円	424,368 千円	ガラス美術館の維持管理等を行うもの。 【内訳】 ・職員人件費 135,107 千円 ・委託料（総合案内受付、監視員業務委託等） 168,337 千円 ・光熱水費 48,046 千円 ・負担金（複合施設維持管理関係等） 42,451 千円 ・その他事務費（消耗品費、借上料等） 24,857 千円	402,940 千円
2	作品収集保存事業費	22,659 千円	19,626 千円	美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行うもの。また、収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行うもの。 【内訳】 ・備品購入費（新規収蔵作品購入費等） 8,746 千円 ・委託料（文化財虫菌害・保存環境調査業務委託等） 9,558 千円 ・その他事務経費 1,322 千円	14,052 千円
3	調査研究事業費	3,164 千円	1,509 千円	全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動を行うもの。 【内訳】 ・旅費（研修会参加にかかる旅費等） 914 千円 ・負担金（I COM 会費、日本ガラス工芸会会費等） 239 千円 ・消耗品費、備品購入費（美術関係雑誌等購入） 155 千円 ・その他事務費 201 千円	2,335 千円
4	展覧会開催事業費	140,000 千円	122,372 千円	ガラス美術作品の企画展示・常設展示を行うもの。 【内訳】 ・報償費（講演会講師、展示指導等） 1,370 千円 ・旅費（作品集荷、作家招聘等） 6,084 千円 ・委託料（作品輸送展示、会場施工、デザイン等） 97,633 千円 ①Gathering-つなぐ創造力 (9,891 千円) ②Lives－富山市ガラス美術館所蔵品選 (21,925 千円) ③めぐりあう今を映す－日本の現代ガラス 1975-2025 (30,541 千円) ④Glass Studio Hub－ひと・わざ・創造力の集まるどころ (5,300 千円) ⑤Noctis：影と光のガラスアート (20,815 千円) ⑥常設展、次年度展覧会準備など (9,161 千円) ・その他事務費 17,285 千円 【参考】観覧者数 416,504 人 うち有料入館者数 353,462 人、観覧料：208,456 千円	117,709 千円
5	富山ガラス大賞展開催事業費	1,900 千円	1,015 千円	「富山ガラス大賞展 2027」の開催に向けて準備を行うもの。 【内訳】 ・旅費（審査員就任依頼にかかる旅費等） 392 千円 ・委託料（特設ウェブサイト保守管理業務等） 545 千円 ・その他事務費 78 千円	41,323 千円
6	教育普及事業費	4,892 千円	4,855 千円	富山市及び連携中枢都市圏の関係市町村（滑川市、上市町、立山町、舟橋村）の小学校 4 年児童をガラス美術館へ招待するスクールプログラムを行うもの。 【内訳】 ・委託料（学校招待プログラム作品鑑賞補助等業務委託等） 4,525 千円 ・その他事務費 330 千円	4,855 千円
7	広報活動事業費	21,689 千円	23,159 千円	ガラス美術館を広く多くの人に周知するため、展覧会等の広報活動を行うもの。また、開館 10 周年を記念し、各種イベント等を開催するもの。 【内訳】 ・委託料（広告制作費・掲載費、ウェブサイト保守、広報印刷物製作費） 8,457 千円 ・広告料等（るるぶ・まっぷる等） 7,659 千円 ・印刷製本費（館内パンフレット等） 3,318 千円 ・その他事務費 3,725 千円	15,806 千円
8	ガラス美術品等取得基金費	50 千円	31 千円	ガラス美術品等の取得に要する費用に充当するために設置した基金に運用益等の積み立てを行うもの。 ・基金運用益積立金（令和 6 年度末現在高 4,971,919 円） 5 千円	5 千円
合計		621,114 千円	596,935 千円		624,757 千円

※繰越を除く

令和 7 年度富山市ガラス美術館の主要事業について

1 作品収集保存事業

趣旨

美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行うもの。

(1) 富山市ガラス作品等収集審査会について

ア 目的等

美術館におけるガラス作品及び関連資料の適正な収集を図るため、富山市ガラス美術館条例に基づく「富山市ガラス作品等収集審査会」を設置し、ガラス作品等を収集している。

イ 任命

審査会の委員は、ガラス作品等に関して学識経験を有する者の中から、教育委員会が任命する。

ウ 定数等 定数 5 人以内、任期 2 年

エ 富山市ガラス作品等収集審査会委員

任期 令和 6 年 6 月 1 日から令和 8 年 5 月 3 1 日まで

氏 名	役職等	専門等
藤原 信幸（会長）	東京藝術大学大学院 ガラス造形研究室教授	ガラス造形
島 敦彦（職務代理）	国立国際美術館長	現代美術
池田 まゆみ	北澤美術館 主席学芸員 日本大学芸術学部 非常勤講師	美術工芸史
外館 和子	多摩美術大学教授	工芸史
唐澤 昌宏	国立工芸館長	近・現代工芸史

(2) 作品収集方針について

富山市では、次の 5 つの収集方針のもと、収集を行っている。

ア 主に 1950 年代以降に制作された、現代ガラス美術発展の流れに沿った国内外のすぐれた作品

イ 次世代のガラス美術の方向を予見させる革新的で質の高い作品

ウ ガラス美術を歴史的・体系的に整理し、美術史上に位置づけるうえで重要と思われる作品

エ ガラス美術以外の造形分野で、“透き通る”というコンセプトにおいて特にすぐれており、ガラス美術の発展の参考となりうる作品

オ その他、美術館が収蔵するのにふさわしい資料等

(3) これまでの収集作品数について

694点の現代ガラス作品等を収集

(4) 令和7年度の収集作品について

令和7年11月27日(木)に「令和7年度富山市ガラス作品等収集審査会」を開催し、審査結果に基づき購入作品7点、寄附作品20件、所管替え作品1件を収集することとした。

	作家名	作品名	制作年
購入作品	野田 収 ダナ・ザーメチニコヴァー 佐藤 静恵 伊藤 真知子	風のかたち 他1件 Lady and Pottery 他1件 Interface vol.6 繋がりの糸 他1件	1984 2003 2020 2025
寄附作品	吉田 丈夫 林 亘 伊藤 孚 フィン・リュンゴー マーヴィン・リポフスキー	クリスタル花器 他2件 矢羽根の鉢 他3件 ピエロ 他2件 ゴブレット Glass Form 1969 他8件	1978 1973 1994 1975 1969
所管替え作品	渋谷 良治	二人で june 29th	1999

2 調査研究事業

趣旨

全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動により、収集・展示・教育普及といった美術館の基本的な活動の質を高めるもの。

(1) 調査研究

作品の収集、保存、展示に関する調査研究を行うとともに、文化庁、全国美術館会議をはじめ、加盟する団体などが主催する専門的な知識・技術に関する研修に参加し、美術館の業務全般にわたり、スキルアップを図った。また、関係書籍の収集を行い、当館における調査研究を進めた。

現代ガラス作品を多く所蔵し、展示する当館では、文献による情報収集だけではなく、直接作家へ作品コンセプトや制作方法の聞き取りを行い、作品や作家、展示についての調査研究を深めた。

この他、他館学芸員や学識者との情報や刊行物の交換、美術資料の相互貸借等による連携や協力活動も行った。

(2) 加盟団体

ア ICOM (International Council of Museum：国際博物館会議)

ICOM は、ミュージアムの進歩と発展を目的とした世界で唯一かつ最大の国際的非政府組織である。1946（昭和21）年に創設され、世界139の国と地域から56,000人以上の個人会員と約4,000団体、4の特別委員会、120の国内委員会、34国際委員会、8の地域連盟、23の加盟機関により構成されている。なお、国際委員会の一つである「ICOM GLASS」の会長に、土田館長が就任。（令和4年12月～）

イ グラス・アート・ソサエティ

1971（昭和46）年にアメリカ・シアトルで設立されたガラス芸術の推進、教育普及、発展促進に貢献する国際的な非営利団体。作家や教育者、美術館、ギャラリー、美術批評家などのガラスに携わる人達の交流促進を目的に活動している団体。会員数は40ヵ国 5,000人以上。

ウ 日本博物館協会

館種や設置者を越えた横断的な博物館振興のための中核機関。1928（昭和3）年設立。「博物館研究」の発刊のほか、全国博物館大会、研究協議会等を開催し、博物館活動情報や諸問題について研究協議を行っている。

現在、1,295（団体会員1,164、賛助会員51、個人会員80）の会員が参加している。（2023（令和5）年4月時点）

エ 全国美術館会議

「日本の美術館がともに考え、ともに行動すること」を目指し、1952（昭和27）年に設立。当会議は、収集・保存、調査・研究、展示、教育普及等の活動を通じて美術作品やそれに関わる資料を未来に伝えていくという美術館の使命を支え、社会的に根付かせるため、総会や研究会等を毎年開催し、広く情報の共有を行っている。2020（令和2）年4月1日に一般社団法人に設立登記し、417館（国立14館、公立260館、私立142館）の正会員と、51名の個人会員、65団体の賛助会員で組織されている。（2026（令和8）年4月1日時点）。

オ 北信越博物館協会

北信越博物館協会は博物館相互の連絡を図り、博物館活動の振興に努め、学術及び文化の発展に寄与することを目的として、富山・石川・福井・長野・新潟各県内にある博物館及び総会で認めたこれに準ずる施設等によって組織される。

カ 富山県博物館協会

「富山県内にある博物館施設の関係者相互の連絡提携をとり、博物館事業の普及発展を図ること」を目的とし、1966（昭和41）年に結成された。現在県内の博物館・美術館を含む、公立や私立の67施設が加盟している。（2026（令和8）年4月末時点）

キ 日本ガラス工芸学会

ガラスに関わる研究会や資料紹介・講習会等の活動を通じて、ガラスの研究者、同好者、制作者との交流を促進するとともに、海外関係団体との提携によりガラス研究と文化の振興を図ることを目的として、1975（昭和50）年に設立。特別会員1、賛助会員3、一般法人会員11、正会員177、購読会員4の合計196の個人と団体が加盟している（2023（令和5）年3月末日時点）。

3 展覧会開催事業

趣旨

現代ガラス美術がもつ多様な側面に焦点を合わせた幅広い内容の作品に出合い、対話する機会を、市民をはじめ、より多くの方々に提供するため、ガラス美術作品の常設展示・企画展示を行うもの。

(1) 令和7年度 常設展等の概要

ア コレクション展

(ア) 概要

富山市ガラス美術館では、主に1950（昭和25）年代以降に制作された国内外の現代ガラス作品を所蔵している。コレクション展では、所蔵作品の展示を行うことで、作家たちがそれぞれの思想や文化、社会的背景、価値観を反映しながら生み出してきた多様な表現を紹介する。

(イ) 会期等

①コレクション展 ガラス×えがく

令和7年6月7日（土）～令和7年11月30日（日）

②コレクション展 バカラ、ガレ、ドーム兄弟・・・、

フランス・アール・ヌーヴォーのガラス

令和7年12月6日（土）～令和8年5月31日（日）

(ウ) 会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

(エ) 観覧料 一般・大学生200円 高校生以下無料 ※6階グラス・アート・ガーデンも観覧可

(オ) 関連事業（学芸員によるトークイベント）各回14時～

コレクション展 ガラス×えがく

■ギャラリートーク

令和7年6月28日（土）、7月26日（土）、8月24日（日）、9月28日（日）、
10月25日（土）、11月22日（土）

会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

コレクション展 バカラ、ガレ、ドーム兄弟・・・、

フランス・アール・ヌーヴォーのガラス

■ギャラリートーク

令和7年12月13日（土）、令和8年1月24日（土）、2月15日（日）、
3月7日（土）、4月5日（日）、5月17日（日）

会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

■関連イベント「ガラス美術館特別コンサート フランス・アール・ヌーヴォーと 弦楽四重奏～ナイトギャラリートークを添えて～」

3月6日（金） 会場 展示室4、透ける収蔵庫（4階）

(カ) 展示風景

ガラス×えがく



撮影：室澤敏晴

バカラ、ガレ、ドーム兄弟・・・、

フランス・アール・ヌーヴォーのガラス



撮影：池田ひらく

イ グラス・アート・ガーデン：チフリー・エクスペリエンス

(ア) 概要

「トヤマ・フロート・ボート」など、建物と融合するように展示される5つのインスタレーション（空間芸術）作品とパネル作品は、現代ガラス芸術を代表する作家、デイル・チフリー氏と彼のスタジオメンバーによって2015（平成27）年に制作された。来場者は美術館6階を回遊することで、鮮やかな色彩のガラス、幻想的な光と影で表現されたデイル・チフリー氏の多様な作品を体感・体験することが出来る。

(イ) 会期 通年

(ウ) 会場 グラス・アート・ガーデン（6階）

(エ) 観覧料 一般・大学生200円 高校生以下無料 ※4階コレクション展も観覧可

ウ グラス・アート・パサージュ

(ア) 概要

富山ゆかりの作家によるガラス作品を「TOYAMA キラリ」内に展示するもの。富山ガラス造形研究所や富山ガラス工房において作品制作、作家活動を行い、その後全国各地で活躍する20名の作家によって制作された作品を展示。2階から4階までの美術館と図書館のオープンエリアにおよそ50点の作品を展示することで、来館者が気軽に現代ガラス表現を鑑賞できる機会となっている。

(イ) 会期 通年

(ウ) 展示風景



4階（展示室4の壁面）



4階（図書館内）

エ ストリート・ミュージアム

(ア) 概要

まちなかの歩道や建物内にガラス作品等を展示している。

(イ) 設置箇所

- ・エキシビジョン・ショーケース：市内に6基設置(うち屋外ショーケース1基、屋内ショーケース5基)
- ・広告パネル：アヴィレ（自転車市民共同利用システム）付近にショーケース3基、ポスター掲示パネル1基設置



エキシビジョン・ショーケース



広告パネル

(2) 令和7年度 企画展概要

ア 富山ガラス工房開設30周年記念展 Gathering—つなぐ創造力

(ア) 概要

1994年に開設された富山ガラス工房は、2024年で30周年を迎えた。同工房は「ガラスの街とやま」において、ガラス作家の育成と自立支援、ガラスアートの普及、ガラス工芸産業の振興を担う施設として設立された。その長い歩みの中で、ガラスの制作体験や制作講座などを通じたガラス文化の普及事業、工房オリジナル色ガラスの開発を始めとした富山ガラスのブランディング、他分野の作家や他業種とのコラボレーションなど様々な取り組みを行っている。

工房にはこれまで120名を超える作家が所属し、その創造力あふれる若い才能が、富山ガラスの魅力を発信してきた。所属作家はスタッフとして過ごす日々を通して切磋琢磨し、その多くは工房を離れたのちも、ガラス作家として国内外で活躍している。

本展では歴代所属作家のうち81名の作品と共に、工房の30年の歩みを振り返るものである。年代により30年間を3つの章に分けて展示を構成し、それぞれの時代における所属作家の作品と、工房の活動を紹介した。会期中には富山ガラスをテーマとしたトークセッションなどのイベントも開催し、工房の取り組みについて広く紹介する機会とした。

(イ) 会期 令和7年3月8日(土)～6月22日(日)

(ウ) 会場 展示室1-3(2・3階)

(エ) 観覧料 一般1,200円、大学生1,000円 高校生以下無料

(オ) 観覧者数 67,791人

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和7年3月7日(金) 16時～

会場 2階ロビー、展示室1-3(2・3階)

■ライブラリー&ミュージアムコンサート

令和7年3月23日(土) 14時～14時30分 会場 2階ロビー

■トークセッション「見るだけじゃない！富山ガラス—使う魅力とその未来」

令和7年5月31日（土）14時～16時 会場 2階ロビー

■学芸員によるギャラリートーク

令和7年3月29日（土）、4月26日（土）、5月25日（日）、6月21日（土）

各回14時～ 会場 展示室1-3（2・3階）

（キ）展示風景



撮影：大木賢（nando inc.）

イ 開館10周年記念：Lives—富山市ガラス美術館所蔵品選

（ア）概要

本展は、富山市ガラス美術館の10周年を記念して開催するものであり、当館のコレクションのみで展示を構成する初の企画展である。美術館の開館からの10年という時間の中で、私たちは穏やかな日常を過ごす一方で、大規模災害や世界的なパンデミックなど、命や日々の生活、自身の人生について自問するような数多くの出来事に遭遇してきた。こうした背景から、本展ではそれぞれの作品に表された「生=Lives」をテーマに、600点以上ある所蔵作品の中から20名とペア1組の作家による作品約50点を展示した。

『生』の活力、「内なる『生』」、「『生』の記憶」、「尊い『生』」という4つのセクションで構成された本展では、作品に見る「生」の表現や、繊細でありながらも力強い造形、感情や記憶を揺さぶるような視覚的・聴覚的な体験などを通して、所蔵作品の魅力を再発見する場となった。また、収蔵後初公開となる作品や、展示スケジュールや技術的な問題などにより、これまでコレクション展では出品することが困難であった作品を紹介することで、市民をはじめ来場者の皆さまに当館の所蔵品の広がりや作品表現の多様さについて示す機会となった。

（イ）会期 令和7年7月18日（金）～10月13日（月・祝）

（ウ）会場 展示室1-3（2・3階）

（エ）観覧料 一般 1,200円 大学生 1,000円 高校生以下無料

（オ）観覧者数 72,068人

（カ）関連事業（一部抜粋）

■開会式・内覧会

令和7年7月17日（金）16時～

会場 2階ロビー、展示室1-3（2・3階）

■フレームワーク制作体験ワークショップ みんなでガラスの吹き玉を作ろう！

日時 令和7年8月2日（土）10時～、14時～

会場 富山ガラス造形研究所

講師 小曾川瑠那（ガラス作家、富山ガラス造形研究所講師）

■万華鏡制作体験

日時 令和7年9月13日（土）10時～

会場 富山市ガラス美術館2階ロビー

講師 浅野碧唯、野間恵花（富山ガラス工房スタッフ）

■学芸員によるギャラリートーク

令和7年7月19日（土）、8月16日（土）、8月30日（土）、9月27日（土）、
10月11日（土）

各回14時～ 会場 ガラス美術館 展示室1－3（2・3階）

（キ）展示風景



撮影：田中祐樹

ウ 開館10周年記念：めぐりあう今を映す—日本の現代ガラス 1975－2025

（ア）概要

1970年代後半以降、高等教育機関におけるガラス専門課程の設立や国際交流の拡大を背景に、国内では自らの手でガラス制作を行う作家が増加した。この時期を重要な転換期と位置づけ、1975年から今日にいたる50年の動向と、その中で生まれた多彩な作品を展示し、日本の現代ガラス芸術を通史的に捉える企画として本展覧会を開催した。

前半1～3章では1970年代後半から2000年代にかけて、国内でガラスの教育、制作、展示の場が増加し、作家達の表現の幅や規模が拡大していった状況を紹介した。後半4～6章では2000年代以降、独自の制作手法を編み出す動きが活発化し、ガラスという素材を新たな視点で解釈するような作品が数多く現れていることを取り上げた。本展は各時代において作家達が経験した「今」の実感が映し出された作品が一堂に会し、その表現の変遷を見ることのできる機会となったと言える。

（イ）会期 令和7年11月1日（土）～令和8年1月25日（日）

第1・第3水曜、年末年始（12月29日～1月1日）

（ウ）会場 展示室1－3（2・3階）

（エ）観覧料 一般1,200円、大学生1,000円、高校生以下無料

（オ）観覧者数 46,737人

(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和7年10月31日（金）16時～

会場 2階ロビー、展示室1-3（2・3階）

■ワークショップ「キルンワークでガラスのオブジェを作ろう」

令和7年12月6日（土）、13日（土） 各日13時30分～

会場 富山ガラス工房第2工房 講師 渋谷良治（本展出品作家）

■出品作家によるクロストーク「日本の現代ガラスの黎明期を語る」

令和7年12月21日（日）13時30分～15時30分まで

会場 2階ロビー 講師 野田収、野田由美子、渋谷良治（本展出品作家）

■特別講座「日本のガラス芸術史」

令和8年1月10日（土）13時30分～15時45分まで

会場 2階ロビー 講師 土田ルリ子（ガラス美術館館長）、中島春香（主任学芸員）

■学芸員によるギャラリートーク

令和7年11月15日（土）、12月14日（日） 各回14時～

会場 展示室1-3（2・3階）

(キ) 展示風景



撮影：柳原良平

エ ガラスの街とやま連携展・富山市ガラス美術館開館10周年記念：

富山ガラス工房 高橋禎彦館長就任記念 Glass Studio Hub

－ひと・わざ・創造力の集まる場所

(ア) 概要

富山市がこれまで40年以上にわたり街づくりの柱の一つとして掲げてきた、ガラスをテーマとした政策で整備された3施設（富山ガラス造形研究所、富山ガラス工房、富山市ガラス美術館）が連携し、ガラスの産業化や作家支援等に資することを目的とした展覧会を、ガラス造形研究所卒業制作展とあわせて開催してきた。本展はこの一環として、今回で4回目の開催となった。

展覧会では令和7年5月、ガラス作家の高橋禎彦氏が富山ガラス工房の新館長に就任されたことを記念し、氏の制作とガラス工房所属作家による作品を取り上げた。高橋氏の考えるガラスの魅力を、工房で制作された新作を通して提示するとともに、工房メンバー各自の得意とする技を駆使した作品で、工房の現在を紹介した。

同時期に3階、5階で開催された、研究所の卒業制作展と併せてご覧いただくことで、ガラ

スの街とやまの「今」を感じていただく絶好の機会となった。

- (イ) 会期 令和8年2月7日(土)～2月15日(日)
- (ウ) 会場 展示室1・2(2階)
- (エ) 観覧料 無料
- (オ) 観覧者数 延べ4,795人(展示室が複数カ所であるため延べ数)
- (カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和8年2月6日(金) 16時～

会場 2階ロビー、展示室1～3(2・3階)および5階ギャラリー1・2

■富山ガラス造形研究所 卒業制作展2026 記念講演会

令和8年2月6日(金) 13時30分～15時

会場 2階ロビー

主催 富山ガラス造形研究所

■ワークショップ「色鉛筆で描く、ガラスの雷鳥制作」

令和8年2月7日(土)、2月8日(日)、2月11日(水・祝) 全5回

会場 2階ロビー

主催 一般財団法人富山市ガラス工芸センター

(キ) 展示風景



撮影：田中祐樹

オ Noctis：影と光のガラスアート

(ア) 概要

科学技術が発達し都市が拡大するまでは、人々はかすかな明かりで夜を過ごしていた。月や星の光、ランプの明かりは、闇への恐怖に対する心の拠り所であり、闇の中に浮かび、またたき、揺らめく光は、謎に満ちた夜の世界への豊かな想像力を育むものだった。19世紀から現代にかけて、ガラスを素材とした作品は、その光と影の妙によって、豊かな象徴性や幻想性を帯びたものとなっていく。中でも、神秘的な光が織りなす陰翳によって夜や闇を表現した作品は、時には未知のものへの畏れとして、時には夢幻の世界への憧れとして、観る者の心を震わせた。趣きに富んだ夜と闇の造形世界は、私たちの内面に絶えずはたらきかけ、心の奥に眠っている感性を呼び起こし続けてきたのである。

本展覧会は、ラテン語で「夜の」「闇の」を意味する「Noctis」と題し、ガラスならではの光が生む影、そして影が表現する夜と闇の魅力に迫ろうとする試みである。夕暮れ時、「逢魔

が時」とも呼ばれる宵の刻、月明かりの射す夜、そして夜明けへと至る時間軸で展覧会を構成し、神秘と幻想性に満ちた夜や闇の不思議さ、美しさを感じさせる91作品を紹介する。

- (イ) 会期 令和8年3月7日(土)～6月21日(日)
(ウ) 会場 展示室1-3(2・3階)
(エ) 観覧料 一般1,200円、大学生1,000円 高校生以下無料
(オ) 観覧者数 17,971人(3月31日時点) (期間計76,151人)
(カ) 関連事業

■開会式・内覧会

令和8年3月6日(金)16時～

会場 2階ロビー、展示室1-3(2・3階)

■記念講演会「エミール・ガレの作品にみる『夜』」

令和8年4月25日(土)14時～15時

会場 2階ロビー

■ワークショップ「大人の美術部 装うガラス-星月夜-」

令和8年5月24日(日)13時30分～16時

会場 2階会議室

■学芸員によるギャラリートーク

令和8年3月22日(土)、4月18日(土)、5月10日(日)、6月20日(土)

各回14時～

会場 展示室1-3(2・3階)

(キ) 展示風景



撮影：京角真裕（空耳カメラ）

4 教育普及事業

趣旨

美術館が掲げる基本方針に則り、誰もが気軽に「美」と「知」に触れられる場として、豊かな感性や知的好奇心を育むため、教育普及プログラムを行うもの。

(1) 令和7年度 教育普及事業の概要

ア 令和7年度学校招待プログラム

(ア) 概要

富山市内および広域連携中枢都市圏市町村の小学校4年生をガラス美術館および市立図書館本館へ招待した。美術館では豊かな感性を育むことを目的とした教育普及プログラムを、図書館では知識教養を深めることを目的としたプログラムを計画し、併せて複合施設の建築見学も行った。

(イ) 実施期間 令和7年7月14日～11月28日(計46回実施)

(ウ) 参加実績 76校／3,459名 ※児童数のみ

(富山市63校／名、滑川市5校／195名、上市町4校／87名、立山町3校／50名、舟橋村1校／36名)



左：コレクション展鑑賞の様子（ヤロスラフ・シャーラ《LEO VIRIDIS》（2021年）

右：さわれるガラス教材鑑賞の様子

(2) 実習等受け入れ

ア 社会に学ぶ『14歳の挑戦』

(ア) 概要

富山市内の中学2年生が「規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に着ける」ため実施される5日間の職場体験活動について、受入を行った。

(イ) 日程 令和7年10月27日(月)～10月31日(金)

(ウ) 受入実績 4名(堀川中学校4名)

5 広報活動事業

趣旨

ガラス美術館の活動を広く多くの人に周知するため、開催する展覧会等に関する広報活動を行うもの。

(1) 主な広報（広告）媒体

ア 広報とやま（発行部数：17万5千部）

美術館の企画展特集や見どころトーク情報、臨時休館情報を掲載。

特集掲載号（※お知らせ等の簡易な掲載は除く）

7月5日号、9月5日号、11月5日号、3月5日号



Lives 展



シンポジウム



めぐり展



Noctis 展

イ 新聞広告

企画展についての新聞広告を掲載。

- ・北日本新聞 7月11日（金）（美術館）
8月22日（金）（Lives 展）
9月 5日（金）（美術館10周年記念シンポジウム）
3月 7日（土）（Noctis 展）
- ・富山新聞 4月 5日（土）（美術館）
7月18日（金）（Lives 展）



北日本新聞 5段広告（Lives 展）



北日本新聞
2段1/4広告
（シンポジウム）



北日本新聞 5段広告（Noctis 展）

ウ 海外雑誌広告

- ・ノイエスグラス（Noctis 展）



ノイエスグラス 2026年 No.01

エ 「まっぷる」、「るるぶ」美術館広告

旅行誌「まっぷる」、「るるぶ」にガラス美術館広告を掲載。

- ・まっぷる富山（4月発行、4万5千部）
- ・まっぷる北陸金沢（9月発行、8万8千部）
- ・まっぷる金沢（2月発行、13万3千部）
- ・るるぶ富山（2月発行、3万5千部）、
- ・るるぶ金沢（3月発行、10万4千部）



まっぷる金沢 1p



るるぶ富山 1p



オ 「美術手帖」企画展広告

現代美術を中心に、国内外の美術動向を紹介する美術雑誌。

発行部数：20,000部

- ・7月号（Lives展） 6月7日発売
- ・4月号（Noctis展） 3月7日発売



美術手帖 2025.7月号（Lives展）



美術手帖 2026.4月号（Noctis展）



カ 「トランヴェール」美術館広告（12月号）

（閲読可能者数：平均760万人／月（各駅の乗車人員2023年度より）

JR東日本の新幹線〈北陸・上越・東北（北海道）・山形・秋田〉
全座席ポケットに設置されているフリーペーパーに美術館全体の
広告を掲載。



2025年12月号（1/3p）

キ 「Favo 富山」開館 10 周年シンポジウム広告（9 月号）

富山県内のグルメ、美容、イベント等の情報を掲載している無料の月刊誌。

発行部数：30,000 部



Favo 富山 9 月号

ク 「アクタス」企画展広告

富山県、石川県で発行している政治、経済、社会、文化、スポーツ等を掲載した月刊誌。

- ・ 5 月号（工房開設 30 周年記念展）
- ・ 8 月号（Lives 展）
- ・ 12 月号（めぐり展 ※¹）
- ・ 4 月号（Noctis 展）



5 月号（工房開設 30 周年記念展）



8 月号（Lives 展）



12 月号（めぐり展）



4 月号（Noctis 展）

ケ ポスター等掲載 企画展広告

- ・ 富山駅南北自由通路「Lives 展」「めぐり展」、「Noctis 展」（各展 3 か所）
- ・ 富山駅構内バナー「Lives 展」（1 か所）
- ・ 富山城址公園「めぐり展」（6 基）
- ・ シティスケープポスター塔「Lives 展」「めぐり展」、「Noctis 展」（各展 1 か所）
- ・ 富山市内電車車内ポスター「めぐり展」（30 か所）
- ・ 北陸新幹線車内ポスター「めぐり展」（2 か所）
- ・ 環状線歩道柱バナー「美術館 10 周年記念」



富山駅構内バナー



富山駅南北自由通路



シティスケープポスター

¹ 「めぐり展」

令和 7 年 11 月 1 日～令和 8 年 1 月 25 日開催の「開館 10 周年記念めぐりあう今を映すー日本の現代ガラス 1975-2025」の略称。（資料 P23 のウを参照）

コ セントラムラッピング（Lives 展及び開館 10 周年）
 運行期間：令和 7 年 8 月 22 日～9 月 21 日



サ ウェブ広告

- ・ガラス美術館公式Instagram
 （Lives 展、めぐり展、Noctis 展、10 周年記念、）
- ・TokyoArt Beat ウェブサイト（めぐり展）



Instagram（Lives 展）



（めぐり展）



（Noctis 展）



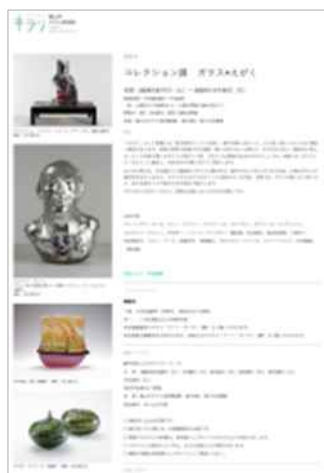
（10 周年記念）



Tokyo Art Beat（めぐり展）

シ ガラス美術館ホームページ

展覧会情報や見どころトークをはじめとしたイベント情報などを随時発信。



ガラス美術館ホームページ

ス SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

令和2年度に立ち上げた Facebook 及び Instagram の当館独自の公式アカウントに加えて、令和3年度には YouTube の公式チャンネルを開設し、継続的にイベントのライブ配信を実施。

Facebook



Instagram



YouTube



(2) 令和8年度年間スケジュールの発行

発行部数：日本語30,000部・英語4,000部



年間スケジュール（両面カラー A4 巻き三つ折）

(3) 多言語での美術館情報の提供

- ・海外観光客の利便性を向上させるため、「QR Translator」を平成28年度に導入。展覧会のチラシや名刺型のカードに印刷したQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで、館内案内や展覧会情報を8カ国語（日本語、英語、簡体字、繁体字、ハングル、仏語、独語、伊語）で表示できる。
- ・令和2年度に当日観覧券にもQRコードを印字、令和3年度には、グラス・アート・ガーデンの音声ガイドを導入し、利用者の利便性の向上を図っている。



スマートフォンでの表示画面



名刺型のカード：表面



名刺型のカード：裏面



当日観覧券

令和7年度TOYAMAキラリ公益施設（美術館及び図書館）入館者数及び富山市ガラス美術館観覧者数について

【月別】

月	TOYAMAキラリ (公益施設) 入館者数	美術館観覧者数（人）												合計	開館日数
		有料						無料							
		一般	大学生	団体	前売券	一部減免 ※1	小計	高校生以下	招待者	減免 ※2	教育普及 (引率者含む)	小計 ※3			
R7.4	67,736	22,289	288	2,097	5	5,355	30,034	1,930	321	1,352		3,603	33,637	28	
5	80,352	26,350	428	1,930	4	8,111	36,823	3,688	450	1,730		5,868	42,691	29	
6	58,600	15,368	277	1,551	7	5,037	22,240	1,330	736	959	0	3,025	25,265	28	
7	62,956	17,868	201	1,032	2	4,386	23,489	2,896	162	1,212	242	4,512	28,001	28	
8	95,475	30,150	1,171	1,102	1	9,795	42,219	7,852	395	2,958	11	11,216	53,435	29	
9	70,261	22,657	1,212	2,460	3	6,251	32,583	1,703	390	1,353	1,011	4,457	37,040	28	
10	74,315	26,383	208	2,604	5	5,795	34,995	2,416	576	1,673	1,376	6,041	41,036	29	
11	80,475	25,113	550	3,487	5	7,926	37,081	2,099	405	3,151	1,061	6,716	43,797	28	
12	55,816	15,993	564	1,110	7	5,070	22,744	1,615	379	927	0	2,921	25,665	26	
R8.1	42,056	12,015	386	1,202	4	2,591	16,198	1,224	571	725		2,520	18,718	29	
2	65,304	17,900	0	1,800	0	3,929	23,629	1,690	50	853		7,388	31,017	26	
3	78,326	22,873	1,252	1,575	50	5,677	31,427	3,199	236	1,340		4,775	36,202	29	
合計	831,672	254,959	6,537	21,950	93	69,923	353,462	31,642	4,671	18,233	3,701	63,042	416,504	337	

※1…（例）「えこまいか」の提示、「地鉄電車・バス1日ふり〜きっぷ」の提示など

※2…（例）富山市民で70歳以上の方、「孫とおでかけ」支援事業など

※3… 企画展「ガラスの街とやま連携展」の会期は2/7～2/15で、観覧料は無料。受付で人数のみカウントしており券種区分は不明であるため、本展観覧者数4,795人は2月の小計に計上。

令和7年度富山市ガラス美術館展覧会別観覧者数について

【展覧会別】

展覧会名	会期	開場日数	展覧会観覧者数（人）											合計
			有料						無料					
			一般	大学生	団体	前売券	一部減免	小計	高校生以下	招待者	減免	教育普及	小計	
富山ガラス工房開設30周年記念展 Gathering—つなぐ創造力	4/1～6/22	77	29,552	993	575	16	10,908	42,044	6,171	1,455	3,429	0	11,055	53,099
開館10周年記念 Lives—富山市ガラス美術館所蔵品選	7/18～10/13	83	37,069	2,792	549	11	14,245	54,666	11,718	1,363	4,321	0	17,402	72,068
開館10周年記念 めぐりあう今を映す 日本の現代ガラス1975-2025	11/1～1/25	76	26,787	1,500	463	16	9,558	38,324	4,483	1,336	2,594	0	8,413	46,737
ガラスの街とやま連携展・富山市ガラス 美術館10周年記念 富山ガラス工房 高橋禎彦館長就任記念 Glass Studio Hub ひと・わざ・創造力の集まるところ	2/7～2/15	9											4,795	4,795
Noctis：影と光のガラスアート	3/7～6/21	24	9,243	1,252	31	50	3,165	13,741	2,957	218	1,055	0	4,230	17,971
常設展 ※2	4/1～3/31		152,308		20,332	0	32,047	204,687	6,313	299	6,834	3,701	17,147	221,834
合計			254,959	6,537	21,950	93	69,923	353,462	31,642	4,671	18,233	3,701	63,042	416,504

※1 観覧料は無料。受付で人数のみカウントしたため券種区分は不明。

※2 常設展のみの観覧者（企画展観覧券による常設展観覧者は除く）

「TOYAMAキラリ」及び「富山市ガラス美術館」来館者数の推移

		TOYAMAキラリ公益施設 (美術館・図書館)				ガラス美術館				
		来館者数		開館日数		来館者数		開館日数		
		月計	累計	月計	累計	月計	累計	月計	企画展 開催日	常設展 開催日
H27	年度計	484,998	484,998	211	211	126,607	126,607	204	168	204
H28	年度計	623,584	1,108,582	350	561	138,618	265,225	337	276	333
H29	年度計	739,344	1,847,926	361	922	129,007	394,232	337	278	331
H30	年度計	1,058,161	2,906,087	364	1,286	374,899	769,131	342	285	338
R1	年度計	804,150	3,710,237	365	1,651	163,797	932,928	341	282	337
R2	年度計	514,178	4,224,415	332	1,983	118,992	1,051,920	302		293
R3	年度計	522,107	4,746,522	343	2,326	94,393	1,146,313	313	236	305
R4	年度計	646,261	5,392,783	361	2,687	175,170	1,321,483	337	274	337
R5	年度計	672,016	6,064,799	348	3,035	208,683	1,530,166	325	249	325
R6	年度計	661,786	6,726,585	361	3,396	288,139	1,818,305	337	265	337
R7	4月	67,736	6,794,321	30	3,426	33,637	1,851,942	28	28	28
	5月	80,352	6,874,673	31	3,457	42,691	1,894,633	29	29	29
	6月	58,600	6,933,273	30	3,487	25,265	1,919,898	28	20	28
	7月	62,956	6,996,229	31	3,518	28,001	1,947,899	29	15	29
	8月	95,475	7,091,704	31	3,549	53,435	2,001,334	29	29	29
	9月	70,261	7,161,965	30	3,579	37,040	2,038,374	28	28	28
	10月	74,315	7,236,280	31	3,610	41,036	2,079,410	29	12	29
	11月	80,475	7,316,755	30	3,640	43,797	2,123,207	28	28	28
	12月	55,816	7,372,571	28	3,668	25,665	2,148,872	26	26	26
	1月	42,056	7,414,627	30	3,698	18,718	2,167,590	28	22	28
	2月	65,304	7,479,931	28	3,726	31,017	2,198,607	26	0	26
	3月	78,326	7,558,257	31	3,757	36,202	2,234,809	29	24	29
	年度計	831,672	7,558,257	361	3,757	416,504	2,234,809	337	261	337

令和7年度富山市ガラス美術館 5階ギャラリー使用実績について

資料2-4

令和7年4月1日～令和8年3月31日

	催 事 名	開催期間	展示日数		主催者	入場者数
			ギャラリー1	ギャラリー2		
1	山々の架け橋展Ⅱ	4/5（土）～4/6（日）		2	文藝同人無刀会	920
2	ハートフルアート展	4/10（木）～4/13（日）	4	4	富山中ロータリークラブ	1,431
3	写真展「私の一瞬」	5/24（土）～5/25（日）	2	2	谷島 匠海	2,501
4	ファーストバンク 第62回小学生図画コンクール	6/14（土）～6/22（日）	9	9	株式会社富山第一銀行	1,955
5	Abox Photo Academy とやま写真展 Vol.8	6/27（金）～6/29（日）	3	3	Abox Photo Academy	1,790
6	富山市ガラス造形研究所コールドクラス展	7/11（金）～7/16（水）	6	6	富山ガラス造形研究所	3,158
7	Exhibition かなび	7/19（土）～7/23（水）	5	5	かなびとやま	5,197
8	富山市所蔵作品展	7/25（金）～8/11（月） ※8/6（水）休場日	17		文化国際課	11,661
9	第18回悠画展	8/26（火）～8/30（土）		5	悠画会	1,653
10	第14回グループゆう展	8/26（火）～8/31（日）	6		ゆう展実行委員会	1,909
11	2025 覚醒 絵画・立体作品展	9/24（水）～9/28（日）	5		柳井功雄 ナカムライサオ	1,682
12	2025GEN会議学生展	10/3（金）～10/8（水）	6	6	富山ガラス造形研究所	5,009
13	JAGDA富山 ポスターデザイン展2025 GREEN vol.30	10/11（土）～10/15（水）	5		（公社）日本グラフィックデザイン協会 富山地区	1,452
14	鉛筆画作品展（写真？・・・えつ！絵！展）	10/17（金）～10/19（日）	3	3	古谷振一鉛筆画教室	4,363
15	尊敬すべき郷土作家 荒谷直之介展	10/24（金）～11/3（月）	11		立山画廊静幸貞美術館	7,397
16	台湾イメージガラス工芸展	11/8（土）～11/18（火）	11		新竹市ガラス工芸博物館	8,460
17	Born from Fire-父子のガラス芸術の传承	11/8（土）～11/18（火）		11	左岸可ガラス工芸有限公司	8,460
18	アーティスト・イン・レジデンス2025展覧会	11/22（土）～11/30（日）		9	富山ガラス造形研究所	6,167
19	偃月	12/4（木）～12/9（火）		6	山本暖太	2,170
20	書道教室Sunroom展 2025～WA！～	12/12（金）～12/14（日）	3	3	書道教室Sunroom	1,788
21	おえかきキッズ作品展	12/20（土）～12/21（日）	2	2	おえかきキッズ	618
22	合併20周年記念事業みんなでつくろう「フォトモザイクアート」	12/23（火）～1/13（火） ※12/27（土）～1/4（日）、1/7（水）休場日		17	文化国際課	2,713
23	農業写真家藤崎優子 写真展「掌」	1/16（金）～1/18（日）		3	「掌」実行委員会藤崎優子	1,227
24	第8回 富山大原学園卒業制作展	1/23（金）～1/26（月）	4	4	学校法人富山大原学園	983
25	富山ガラス造形研究所卒業制作展2026	2/7（土）～2/15（日）	9	9	富山ガラス造形研究所	5,605
26	写真展示「あの日のとやま ー懐かしの西町かいわいー」	2/19（木）～3/22（日） ※3/4（水）休場日	31	31	富山市立図書館	16,576
27	写真展「四季～きみと過ごす瞬間～」	3/28（土）～3/29（日）		2	太田 早希	882
合 計			142	142		107,727

令和7年度公益施設内関連イベントの実施状況について

1 美術館関連イベント（併設する図書館主催のイベントは除く）

（1）来館者200万人達成記念セレモニー

来館者数200万人の達成を祝い、来館200万人目のお客様に藤井市長、土田館長から記念品をお渡しした。

日程：令和7年9月1日（月）

会場：TOYAMA キラリ 4 F



来館者200万人達成記念セレモニー

（2）TOYAMA キラリ 防火・防災訓練

TOYAMA キラリ内に勤務する職員（美術館、図書館、カフェ、ミュージアムショップ、富山第一銀行、施設管理委託業者）合同で、自主防火・防災訓練（被害状況の通報、消火、避難訓練など）を実施した。

日程：令和7年11月5日（水）

会場：TOYAMA キラリ



TOYAMA キラリ防火・防災訓練

（3）10周年記念シンポジウム

「世界に発信する富山のガラスアート」の開催

キャロル・ワイト館長（コーニングガラス美術館）や隈研吾氏（当館の設計を手がけた建築家）、高橋禎彦ガラス工房館長、本郷仁造形研究所長をパネリストとしてお迎えし、「ガラスのまちづくり」を考えるシンポジウムを開催した。

日程：令和7年11月9日（日）

会場：TOYAMA キラリ 9階 キラリホール



10周年記念シンポジウム

2 その他のイベント（富山市 他課担当事業）

- （１）「令和７年度富山市公募提案型協働事業」説明会
まちづくりのアイデアを提案し、提案者と市が協働で地域の課題解決に取り組む「富山市公募提案型協働事業」説明会及び前年度報告会を行った。

日程：令和７年４月６日（日）
会場：TOYAMA キラリ２Ｆ ロビー
主催：富山市（市民協働推進課）



富山市公募提案型協働事業 説明会

- （２）市民ミニコンサート（１１回開催）

日程：令和７年４月１８日、５月２日、
７月１１日、７月２５日、８月１日、
８月２２日、１２月５日、１２月１９日、
令和８年１月２３日、２月２０日、
３月１３日
（いずれも金曜日）

会場：TOYAMA キラリ２Ｆ ロビー
主催：富山市（文化国際課）



市民ミニコンサート

- （３）みんなでバスをつくろう！ワークショップ

子どもたちが水橋学園スクールバスのデザインを描くワークショップを実施した。

日時：令和７年７月２６日（土）
会場：TOYAMA キラリ２Ｆ ロビー
主催：富山市（学校再編推進課）

- （４）本物に触れる体験型講座

富山市合併２０周年記念事業「体験型講座」の一環として、小学生を対象としたワークショップを実施した。

日程：令和７年８月８日（金）
会場：TOYAMA キラリ２Ｆ ロビー
主催：富山市（企画調整課）



本物に触れる体験型講座

(5) 富山市長×クレイグ・モド氏対談

ニューヨーク・タイムズ「2025年に行くべき52か所」の記事を執筆したクレイグ・モド氏と藤井市長との公開対談を行った。

日程：令和7年9月18日（木）

会場：TOYAMA キラリ2F ロビー

主催：富山市（広報課）

(6) 「フォトキット2025」展示

日程：令和7年11月23日（日）、24日（月）

会場：TOYAMA キラリ2F ロビー

主催：富山市（広報課）

(7) 第10回とやま森の四季彩フォト大賞

入賞・入選作品展

日程：令和8年2月20日（金）～3月2日（月）

会場：TOYAMA キラリ3F

主催：富山市（森林政策課）



第10回とやま森の四季彩フォト大賞

入賞・入選作品展

(8) マイナビオールスターゲーム2026開催記念

巡回パネル展

令和8年7月29日に開催予定の日本プロ野球「マイナビオールスターゲーム2026」の開催を記念して、歴代の試合の様子をパネルで展示した。

日程：令和8年3月3日（火）～3月13日（金）

会場：TOYAMA キラリ2Fロビー（ミュージアムショップ前付近）

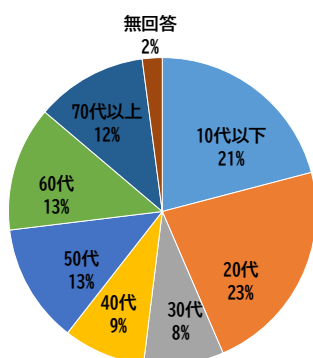
主催：富山市（スポーツ健康課）

来館者アンケート集計結果

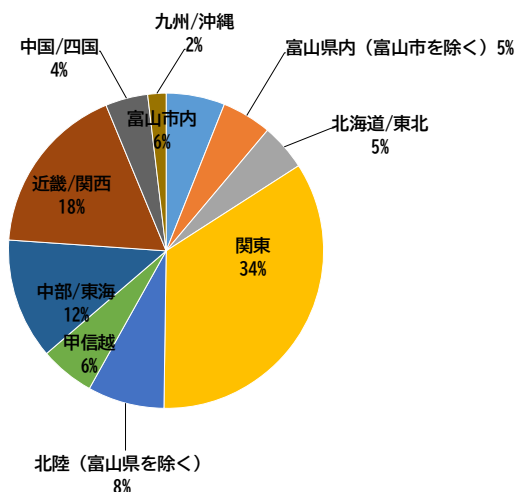
資料 2 - 6

- 1 アンケート実施期間：令和7年4月1日（火）～ 令和8年3月31日（火）
- 2 実施要領：各階受付に用紙・回収箱を設置
- 3 期間中来館者数：831, 672人
- 4 回答数：日本語版 999件
国名・感想のみを記入の英語版は238件 合計1, 237件

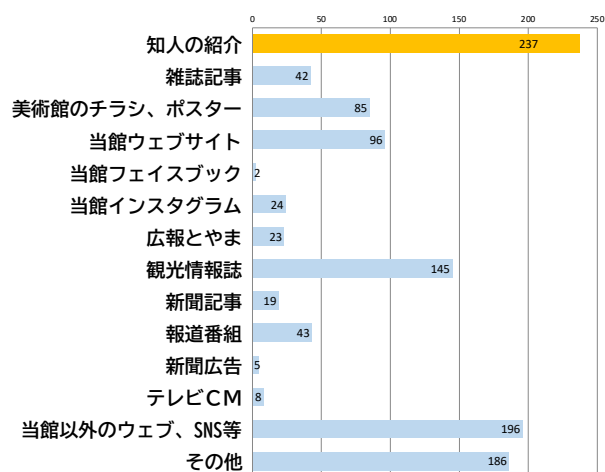
(1)年齢



(2)居住地域



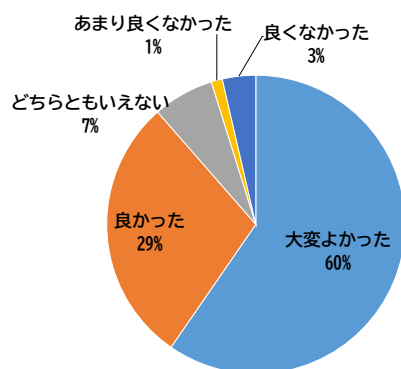
(3)来館のきっかけ



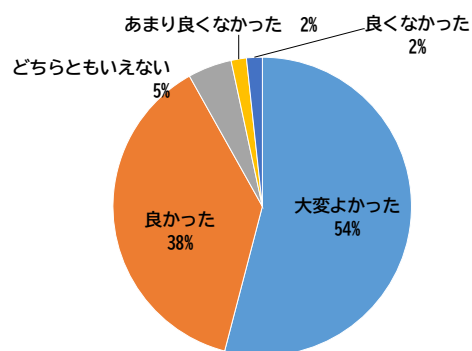
【「その他」の内訳】

17件 Youtube
16件 GoogleMap
13件 TikTok
11件 るるぶ、旅行
8件 Lemon
4件 Google、SNS
3件 図書館、家族のつきそい、学校、歩いてたら見つけた
2件 たまたま、タクシーの運転手、Yahoo.jp、ネット
1件 chat GPT、何度か富山に来ることがあり存在を知っていた、おかあさんにつれてこられた、美術館・芸術館を巡る趣味があるので、うかがいました、駅の案内に書いてあったので、とやまの観光案内HP、NYタイムズ、ネットの口コミ、くらしの一部、駅案内所、地区行事、ニューヨークタイムズで紹介されたニュース、マンホールカード、かねてからの願い、元々気になっていた、山王まつり、自分で検索、阪急交通社のツアーで、ドコモスマートニュース、直接見て知った、日本橋の富山のアンテナショップで入手したパンフ、入場券もらった、観光案内所、近くに来たから、課題、学校の課題、本、バスガイドから、各地の美術館巡りをしている、富山大空襲の大和デパート跡地と展覧会で知ったため、招待券をもらって、富山駅に掲示された広告、配信者の紹介、社員旅行

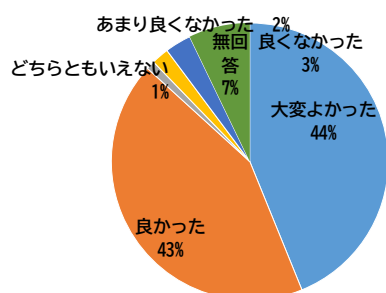
(4)富山ガラス工房開設30周年記念展



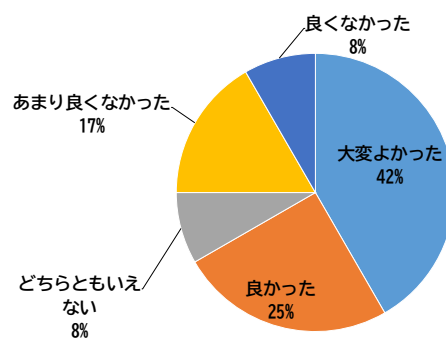
(5)Lives展



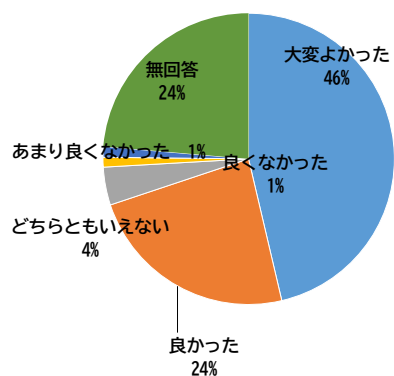
(6)めぐり展



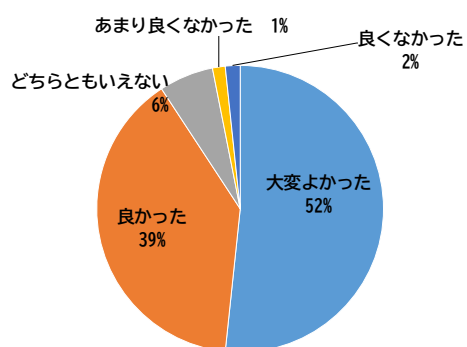
(7)Noctis展



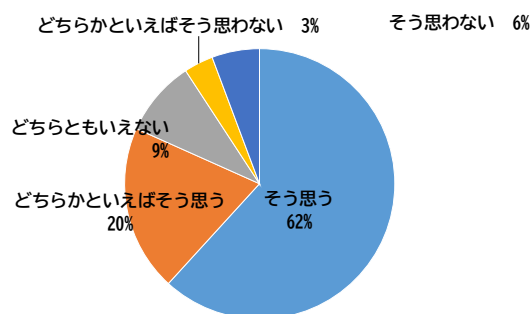
(8)ガラス・アート・ガーデン



(9)コレクション展



(10)本美術館にまた来館したい (他の人にすすめたい) と思うか



(11)主な美術館への要望

来場者への対応が良くない	75件
入場料を安くしてほしい	3件
監視員が多い	4件
館内の案内をわかりやすくしてほしい	7件
作品点数が少ない	13件
作品解説をわかりやすく読みやすくしてほしい	36件
ワークショップ等体験できるものを増やしてほしい	2件
作品の見せ方を工夫してほしい	9件
展示作品の立入禁止場所がわかりづらい	25件
建物の場所がわかりづらい	1件
順路をわかりやすくしてほしい	8件
スタッフの説明がほしい	6件
ショップのグッズ価格が高い	4件
ショップのポストカードの種類を増やしてほしい	3件
駐車場（提携駐車場、割引サービス等）がほしい	11件
写真・動画撮影・SNS投稿可能にしてほしい	4件
ほこり等の汚れが気になる	20件
撮影NGエリアがわかりづらい	4件

【参考】英語版アンケート回答者の居住地（50音順）

アメリカ	31	スイス	2	ブラジル	31
アルゼンチン	1	スウェーデン	1	フランス	12
イギリス	14	スペイン	2	ベトナム	1
イタリア	4	タイ	10	ベルギー	2
インド	5	台湾	10	ポルトガル	1
インドネシア	4	チェコ	1	マレーシア	2
オランダ	3	中国	29	メキシコ	5
オーストラリア	20	ドイツ	9	モンゴル	1
オーストリア	1	日本（在住）	18	リトアニア	1
カナダ	14	ニュージーランド	1	ルーマニア	1
韓国	3	フィリピン	4	ロシア	2
グアテマラ	1	フィンランド	2	不明	12
シンガポール	8	プエルトリコ	1		



来館者アンケート

この度は富山市ガラス美術館のご利用ありがとうございます。
大変お手数ですが、今後の運営の参考とさせていただくため、アンケートへのご協力を
お願いします。

Q1. アンケートのご回答者様についてご記入ください。

(1) ご来館日 月 日

(2) 年齢 ☐ 10代以下 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

(3) お住まいの地域（差し支えなければ都道府県名もお書きください）

☐ 富山市 ☐ 富山県内※富山市を除く（ 市、町、村） ☐ 北海道/東北

☐ 関東 ☐ 北陸※富山県を除く ☐ 甲信越 ☐ 中部/東海 ☐ 近畿/関西

☐ 中国/四国 ☐ 九州/沖縄 ☐ 国外 （お住まいの都道府県名※国外の場合は国名： ）

Q2. 富山市ガラス美術館にお越しになったきっかけは何ですか。（複数回答可、該当するものにチェックをつけた上で、差し支えなければ具体的に媒体名をお書きください。）

☐ 新聞記事（ 新聞）

☐ 新聞広告（ 新聞）

☐ テレビの報道（番組名： ）

☐ テレビのCM（テレビ局名： ）

☐ 広報とやま（富山市発行の広報誌）

☐ 知人からの紹介

☐ 美術館のチラシ、ポスター（施設名： ）

☐ 雑誌記事（雑誌名： ）

本美術館の ☐ ウェブサイト
 ☐ Instagram
 ☐ Facebook

本美術館 以外の ☐ ウェブサイト（サイト名： ）
 ☐ Instagram ☐ X（旧 Twitter）
 ☐ Facebook

☐ 観光情報誌（ ） ☐ その他（ ）

Q3. 本日を含めてこれまでに何回、本美術館を利用されましたか。

☐ 初めのご来館 ☐ 2回 ☐ 3～4回 ☐ 5回以上

Q4. 本美術館にまた来館したい（誰かに本美術館を勧めたい）と思いますか。またその理由を自由にご記入ください。

☐ そう思う ☐ どちらかといえばそう思う ☐ どちらともいえない

☐ どちらかといえばそうは思わない ☐ そう思わない

記入欄

Q5. 本日はどのような交通手段でご来館されましたか。（複数回答可）

☐ 徒歩 ☐ 自家用車 ☐ 観光バス ☐ 市内電車（路面電車） ☐ タクシー ☐ 路線バス

☐ 自転車 ☐ 電車（在来線） ☐ 新幹線・特急 ☐ その他（ ）

Q6. 観覧料についてどう思いますか。

☐ 高い ☐ やや高い ☐ 普通 ☐ やや安い ☐ 安い

アンケートは裏面に続きます

Q7. 各階受付や展示室スタッフの対応はいかがでしたか？スタッフの対応について、ご意見、感想等がありましたら、自由にご記入ください。

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった
「 」階 （ 受付 ・ 監視 ） ※差し支えない範囲で該当する階をご記入ください。

記入欄

Q8. 展覧会の内容はいかがでしたか。該当箇所にチェックしてください。また、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

(1) 企画展 (2・3 階) ※ご覧いただいた展覧会をチェックしてください。

☐「富山ガラス工房開設 30 周年記念展 Gathering—つなぐ創造力」
(2025/3/8~2025/6/22)

☐「開館 10 周年記念 Lives—富山市ガラス美術館所蔵品選」
(2025/7/18~2025/10/13)

☐「開館 10 周年記念 めぐりあう今を映す—日本の現代ガラス 1975-2025」
(2025/11/1~2026/1/25)

☐「Noctis—陰翳礼讃—（仮称）」
(2026/3/7~2026/6/21)

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

(2) 常設展

「コレクション展」(4階)

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

「グラス・アート・ガーデン」(6階)

☐大変良かった ☐良かった ☐どちらともいえない ☐あまり良くなかった ☐良くなかった

記入欄

Q9. ガラス美術館について、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

記入欄

その他 カフェ、ショップ、TOYAMA キラリ建物全体のこと等、ご意見、感想等がありましたら自由にご記入ください。

記入欄

ご協力ありがとうございました。

またのご来館をお待ちしております。

令和 8 年度

富山市ガラス美術館 事業計画等

令和 8 年度富山市ガラス美術館事業一覧について

No.	事業名	当初予算額	主な事業の概要
1	管理運営事務費	444,777 千円	ガラス美術館の維持管理等を行う。 【内容】 ・職員人件費 136,900 千円 ・光熱水費 53,089 千円 ・委託料（受付・監視等業務委託 他） 176,045 千円 ・負担金（管理協議会ビル管理委託 他） 41,762 千円 ・その他経費 36,981 千円
2	作品収集保存事業費	22,394 千円	美術館が掲げる作品収集方針を基に、作品及び関連資料の収集を行う。また収集した作品を後世に伝えるための、調査研究と保存を行う。 【内訳】 ・備品購入費（新規収蔵作品購入費） 10,000 千円 ・委託料（美術品保管庫燻蒸業務 他） 10,917 千円 ・その他経費 1,477 千円
3	調査研究事業費	2,409 千円	全国の美術館等と連携を図り、研修参加や情報収集に努めるとともに、ガラス美術を中心とした専門書籍の収集など、学芸の調査研究活動を行う。 【内訳】 ・旅費（全国美術館会議、国際会議 他） 1,712 千円 ・負担金（全国美術館会議 他） 356 千円 ・その他経費 341 千円
4	展覧会開催事業費 （展覧会開催事業費）	140,000 千円	ガラス作品の企画展示・常設展示を行う。 【内訳】 ・旅費（作品集荷、作家招聘等） 9,706 千円 ・委託料（作品輸送展示、会場施工等） 103,645 千円 ①Noctis：影と光のガラスアート (8,923 千円) ②Brilliant Color (41,969 千円) ③フィンランド スピリット サウナ (21,113 千円) ④ガラスと『EGAKU』のアート」(仮) (21,894 千円) ⑤ガラスの街とやま連携展 (3,000 千円) ⑥常設展、次年度展覧会準備など (6,746 千円) ・借上料（作品借用等） 6,989 千円 ・その他経費 19,660 千円
5	展覧会開催事業費 （富山ガラス大賞展 開催事業費）	12,174 千円	「ガラスの街とやま」の更なる定着を図り、その魅力を国内外に発信していくため、現代ガラス作品を中心とした国際公募展「富山ガラス大賞展」を開催する。令和 8 年度は作品募集および一次審査を行う。 【内訳】 ・委託料（実行委員会への委託費） 11,000 千円 ・旅費（国外審査員との打合せ）、通訳費 1,174 千円
6	教育普及事業費	4,983 千円	富山広域連携中枢都市圏域の小学 4 年生をガラス美術館へ招待し、豊かな感性を育むことを目的としたスクールプログラムを行う。 【内訳】 ・委託料（スクールプログラム活動スタッフ委託費 他） 4,465 千円 ・その他経費 518 千円
7	広報活動事業費	16,974 千円	ガラス美術館を広く多くの人に周知するため、展覧会等に関する広報活動を行う。 【内訳】 ・広告料（るるぶ、まっぷる 他） 6,031 千円 ・委託料（新聞、テレビ等広告制作費、掲載費 他） 9,400 千円 ・その他経費 1,543 千円
8	ガラス美術品等 取得基金費	65 千円	ガラス美術品等の取得に要する費用に充当するために設置した基金（令和 7 年度末時点 4,971,919 円）について、運用益等の積み立てを行う。 【内訳】 ・基金運用益積立金 65 千円
予算額合計		643,776 千円	

1 ノクティス:影と光のグラスアート

展示室1-3
[2・3F]

2026年 3月7日[土] ▶ 6月21日[日]

闇の中に浮かび、またたき、揺めく光は、謎に満ちた夜の世界への想像力を育んできました。19世紀から現代にかけて、ガラスを素材とした作品は、豊かな象徴性や幻想性を帯びたものとなります。本展覧会では、ガラスならではの光が生み出す影の美しさ、そしてその影が表現する神秘的な夜と闇の魅力に迫ります。



木下結衣(余燐)2023年 富山市ガラス美術館所蔵 撮影:本正寛弘生

4 ガラスと「EGAKU」のアート(仮称)

展示室1-3
[2・3F]

2027年 3月6日[土] ▶ 6月20日[日]

本展は1950年以降に制作された現代グラスアートを中心に、ガラスであるからこそ可能な「えがく」手段や表現、その意義に迫ります。ガラスに直接絵付けを施す作品から、その特性を活かしてガラスそのものの「えがく」作品、さらにガラスそのものを題材として「えがいた」作品など、ガラスと「えがく」の関係性から生まれる多彩な世界をお楽しみください。

2 Brilliant Color

展示室1-3
[2・3F]

2026年 7月11日[土] ▶ 10月12日[月・祝]

色鮮やかなガラス瓶やビー玉。色ガラスは、そんな身近な記憶と共に私たちの心をとぎめかせてきました。19世紀初頭から化学の発展を背景に、職人たちがデザイナーは新しい色を求めて実験を重ね、豊かな色彩表現を生み出します。本展では、色ガラスの普及、素材や技法の革新、暮らしへの広がり、現代への継承という4つの視点から、コーニング・ガラス美術館を中心とする約150点の作品とともにその魅力を紹介します。

This exhibition is organized at the Toyama Glass Art Museum in collaboration with The Corning Museum of Glass.



ルイーズ・フング「オールド・グリーン」(Old Green and Green Vase) 1900-1903年頃
CMoG 63.4.116, gift of Fletcher Ford and Mrs. Sally Recker in memory of Lida Kinkaid Ford.
Courtesy of The Corning Museum of Glass, Corning, NY.

3 フィンランドスピリット サウナ

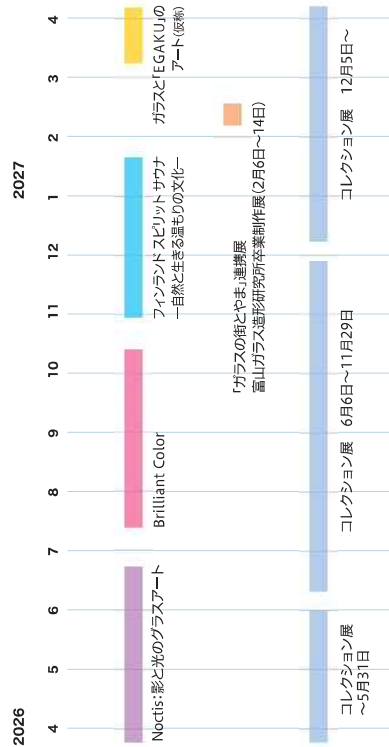
展示室1-3
[2・3F]

2026年 10月31日[土] ▶ 2027年 1月24日[日]

今日サウナ大国として知られるフィンランド。健康効果を得るだけでなく、生死にまつわる神聖な場、団らんや相談といったコミュニケーションの場として、サウナは古くから人々の暮らしと密接に結びついてきました。本展覧会では、多様な展示物を通して、フィンランドの社会や精神性に息づくサウナ文化に迫ります。



ヨルマ・ヴェンノラ(Sauna) 1979-1982年 個人蔵



※記載内容は変更する場合があります。

参考資料

ミュージアムショップ（2階）のオリジナル商品について

参考資料- 1

株式会社オークコーポレーション

	商品名	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
1	クリアファイル TOYAMAキラリ	¥500	¥455	310×220mm	素材：PP 印刷：オフセット印刷 梱包：OPP袋入り、裏面1cシール貼り	
2	クリアファイル ストライプ	¥500	¥455	310×220mm	素材：PP 印刷：オフセット印刷 梱包：OPP袋入り、裏面1cシール貼り	
3	クリアファイル 隈研吾	¥600	¥546	310×220mm	素材：PP 印刷：オフセット印刷 梱包：OPP袋入り、裏面1cシール貼り	
4	てぬぐい kirakira	¥1,760	¥1,600	900×340mm	素材：綿 100% 印刷：注染 梱包：紙帯巻き	
5	てぬぐい maru	¥1,760	¥1,600	900×340mm	素材：綿 100% 印刷：注染 梱包：紙帯巻き	

	商品名	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
6	ポストカード ハワード・ベン・トレ	¥140	¥128	H148×W100mm	4c+1c プリント PPコーティング	
7	ポストカード 藤田 喬平	¥140	¥128	H148×W100mm	4c+1c プリント PPコーティング	
8	ポストカード TOYAMAキラリ	¥140	¥128	H148×W100mm	4c+1c プリント マットコート	
9	ポストカード TOYAMAキラリ (2Fロビー)	¥140	¥128	H150×W100mm	4c+1c プリント ヴァンヌーボ OPP袋有り 減灯UVインキ+光沢ニス	
10	ミシン綴じノートス リム アオ	¥800	¥728	H161×W83mm	表紙：箔押し 表紙カラー：アオ 本誌：OKフールス紙ク リム OPP袋有り	

	商品名	税込価格	税抜 本体価格	サイズ	仕様	画像
11	ミシン綴じノートス リム ヒスイ	¥800	¥728	H161×W84mm	表紙：箔押し 表紙カラー：ヒスイ 本誌：OKフールス紙ク リーム OPP袋有り	
12	アクリルマグネット ストライプ	¥700	¥637	W40mm×H60mm×D5mm	材質：透明アクリル板/ア クリル白板 加工：4C印刷 仕様：マグネットシート 包装：OPP+JANシール	
13	アクリルマグネット TOYAMAキラリ	¥700	¥637	W40mm×H60mm×D5mm	材質：透明アクリル板/ア クリル白板 加工：4C印刷 仕様：マグネットシート 包装：OPP+JANシール	
14	サテントートバッグ ストライプ	¥3,000	¥2,728	本体部分 W350mm×H370mm		

C a f e小馬キラリ店（2階）メニューについて

[甘味]

アイスクリーム ¥600	
フローズドリンク 各¥750	
ケーキ 各¥600	
ケーキ&プチデザート ¥750	

[軽食]

トースト	・・・ ¥600
ハムサンド	・・・ ¥800
ハムとチーズサンド	・・・ ¥800
チーズサンド	・・・ ¥800
富山のお煎餅	・・・ ¥500

[ドリンク]

コーヒー [ホット/アイス]	・・・ ¥600
紅茶[ホット/アイス]	・・・ ¥600
ウインナーコーヒー[ホット/アイス]	・・・ ¥750
富山ブラックサイダー	・・・ ¥600
ジンジャーエール	・・・ ¥600
炭酸水	・・・ ¥600
オレンジジュース	・・・ ¥600
烏龍茶	・・・ ¥600
カフェオレ[アイス]	・・・ ¥700
コーヒーフロート	・・・ ¥750
ソーダフロート	・・・ ¥750

[アルコール]

富山地麦酒 [缶]	・・・ ¥900～
富山貴醸酒 満寿泉 [グラス]	・・・ ¥750